

八戸工業高等専門学校		開講年度	平成29年度 (2017年度)	授業科目	情報処理Ⅱ(1021)
科目基礎情報					
科目番号	0123		科目区分	専門 / 必修	
授業形態	演習		単位の種別と単位数	履修単位: 1	
開設学科	機械工学科		対象学年	4	
開設期	通年		週時間数	1	
教科書/教材	入門ANSI-C/石田晴久ほか/実教出版				
担当教員	細越 淳一				
到達目標					
Windowsシステムの基本操作が出来ること eclipseにおけるプログラム開発手順が理解できること C言語の文法を理解して簡単なプログラム作成ができること					
ルーブリック					
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安
Windowsシステムの基本操作	Windowsシステムを有効に活用することができる。		Windowsシステムの基本操作ができる。		Windowsシステムの基本操作ができない。
プログラム開発手順	プログラム開発手順を有効に活用することができる。		プログラム開発手順が理解できる。		プログラム開発手順が理解できない。
プログラム作成	C言語の文法を有効に活用してプログラム作成ができる。		C言語の文法を理解して簡単なプログラム作成ができる。		C言語の文法を理解して簡単なプログラム作成ができない。
学科の到達目標項目との関係					
教育方法等					
概要	UNIXのシステム記述用言語として開発されたC言語は、流れ制御構造を完備し、データ構造もしっかりした構造化プログラミングのし易い本格的なプログラミング言語であり、現在コンピュータの汎用言語として定着している。ここでは演習を通して、C言語によるプログラミングの習得とアルゴリズムの基礎的事項を学ぶ。				
授業の進め方・方法	WindowsパソコンとC言語の統合開発環境ソフトeclipseを用いてプログラミング演習主体の授業を行う。演習問題を解きながらプログラミングの基本パターンを習得し、複雑なプログラムであっても基本パターンの組み合わせで出来ることを知るようにする。				
注意点	演習主体の授業なので、キーボードやパソコンの操作に早く習熟することが重要である。適宜課題を課すのでこれにより自分の理解度を把握すること。				
授業計画					
		週	授業内容	週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	関数の書式と作り方	関数が理解できる。	
		2週	関数の書式と作り方	関数を含んだプログラムが作成できる。	
		3週	再帰処理	再起処理が理解できる。	
		4週	1次元配列	1次元配列が理解できる。	
		5週	2次元配列	2次元配列が理解できる。	
		6週	多次元配列	3次元配列が理解できる。	
		7週	配列とアドレス	配列のアドレスが理解できる。	
		8週	到達度試験		
	2ndQ	9週	ポインタ変数の基礎	ポインタが理解できる。	
		10週	ポインタ変数と配列	ポインタを含んだプログラムが作成できる。	
		11週	関数とポインタ	関数とポインタの関係が理解できる。	
		12週	構造体	ポインタが理解できる。	
		13週	構造体と関数	構造体と関数の関係が理解できる。	
		14週	共用体	共用体が理解できる。	
		15週	共用体	共用体を含んだプログラムが作成できる。	
		16週	到達度試験		
後期	3rdQ	1週			
		2週			
		3週			
		4週			
		5週			
		6週			
		7週			
		8週			
	4thQ	9週			
		10週			
		11週			
		12週			
		13週			
		14週			
		15週			
		16週			
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標					
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週

評価割合			
	試験	課題	合計
総合評価割合	80	20	100
基礎的能力	0	0	0
専門的能力	80	20	100
分野横断的能力	0	0	0